

社協たより

第153号

2012.3.1

点字版あります

【編集・発行】社会福祉法人 直方市社会福祉協議会 〒822-0034 直方市大字山部616-145
TEL 0949 (23) 2551 FAX 0949 (23) 2552
e-mail : nogata-shakyo@fuga.ocn.ne.jp HP : <http://www.nogatashakyo.org/>



福祉を通して学び合い、共に育つ

地域福祉セミナー第2回「東日本大震災とボランティア活動について」講演

- 地域福祉セミナー..... 2
- お知らせ(もちつき会報告、登録ヘルパー募集、SOSネットワーク参加登録募集)..... 4
- 地域の輪(ちょこっと手助け えくぼの会)..... 3
- 情報の広場(ボランティアのつどい参加者募集、デンマークの障がい者福祉学習会)..... 3
- 図書室(ワガママなバアサンになって楽しく生きる)..... 3

もくじ

東日本大震災が起きて、間もなく1年を迎えます。改めて犠牲となられた人々のご冥福を祈り、被災された多くの人たちの生活の安定、地域の復興が滞りなく進むよう支援を続けたいと思っています。

今年度の地域福祉セミナー第2回では、「東日本大震災とボランティア活動」と題して、被害の実情、今後の課題などを沢山学ぶことができました。

阪神淡路大震災の後にも問われましたが、もう一度「私たちの生きる目的は何か」生きる手段と目的を間違えていないか、自分自身に問い直したいものです。「人はパンのみに生きるにあらず」と教えてもらいます。

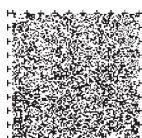
絆を広げ、強く、充実していききたいものです。「住み続けたい、福祉のまち直方」を目指して。

(A・I)

地域福祉セミナーに参加して

kantera

カンテラ



遺品整理の現場から学ぶ ～最期まで孤立しないために～

「天国へのお引越しのお手伝い」遺品整理専門会社

キーパーズ 代表取締役 吉田 太一 氏



なぜ、私が講師なのか

大学の先生でもない、一企業の社長がなぜ講師なのか。それを考えると、日本で一番（何千件）故人の家に入り、家の中を見てきたからではないだろうか。

孤立死（気づいてもらえない死）とは

世間一般に広まっている孤独死とは違い、聞きなれない言葉ではあるが、厚生労働省が制定した言葉で、客観的にみて一人住まいの人が地域から孤立した状態で亡くなること。

遺品整理の現場から故人の生き様を学ぶ

故人の家に入り、中をじっくり確認すると、会ったこともない人の生き様や性格、人間関係までもが分かってしまう。

孤立死しないためにはどのような生き方が必要なのか、無意識のうちに故人から学んでいる。

（福岡市52歳男性の事例）

家賃の滞納が3ヶ月続き、心配した大家が確認に行ったところ、死後3ヶ月の状態で見えられた。冬という季節も影響し、ミイラ状態ではあったが、腐乱は進んでいなかった。テレビ台の上など、置いてあるはずの場所に物はなく、唯一残っていた

冷蔵庫の中身も空っぽであった。

孤立や依存の現状（現実）と現場から見える社会背景（原因）

★年齢・時代・生活スタイルの変化における要因

孤立死は高齢者だけの問題ではない。月によっては、65歳未満の件数が多い場合もあり、圧倒的に男性が多い。また、孤立死の現場はゴミ屋敷であることが多く、片付けができないことによる悪循環から孤立してしまうケースが多いように感じられる。

少子高齢化よりも重要な問題は、20歳までに異性と付き合ったことのない男女が49%という現実である。つまり、異性に関心のない男女が増加することにより、ますます单身世帯が増加し、孤立しやすい状況が社会に存在すると考えられる。

★男性と女性の違いによる要因

女性は男性に比べて、言葉を使って充実感を味わうという能力に長けており、コミュニケーション能力が高い。そのため、女性の孤立死というケースは少ない。

社会から孤立しないためのポイント

- ・ 現実を知り、自分は孤立死したくないという強い気持ちを持つ。
- ・ 親友よりも友達を複数持つ。（身内よりも親友よりも当てになる近くの友達）

- ・ 部屋は綺麗にして、壊れた電化製品はすぐに修理する。（バランスを保つ習慣を意識）

- ・ 若者の孤立防止策を考えることが、自身の孤立防止策につながる。（示しがつかない）
- ・ つじつまの合った生活スタイル（依存しすぎていないか、自らの生活スタイルの見直し）
- ・ 改めて物事の意味を考え、自分の好きなイメージを描く。（漠然と生活しないために）

参加者の感想（孤立死に備えて、今取り組めることは）

- ・ 自治会・行政との連携を密にしていく。
- ・ 地域活動へ積極的に参加する。
- ・ 隣組への加入を勧める。
- ・ 地域で孤立死の課題について話をする場を持つ。
- ・ 一人暮らし高齢者などが外に出る（体操教室等）機会を提供する。
- ・ 地域で一人暮らしマップ、緊急連絡網を作成する。
- ・ 隣近所に声を掛ける。
- ・ 時折友人とお茶を飲む。
- ・ ゴミ出しで顔を見る。
- ・ 電話での安否確認、個別訪問などで情報を共有する。

地域の輪

地域に根ざした独自の
福祉活動をご紹介します。

楽しく、生きがいを持って

ちよこつと手助け

えくぼの会



会員の明るい掛け声に引き込まれ、自然と笑顔になる会場内

ドアを開けると、人気歌手の歌で体操をしている公民館は、熱気があふれていました。取材に来た私も自然と体が動き出します。

「えくぼの会」という可愛い名前前は、高齢者に優しく寄り添い、心身の健康づくりを担うボランティア団体です。結成して4年ですが、地域の公民館に出向き、健康体操やレクリエーション、手工芸品の制作など意欲的に活動しています。また、研修会への参加や自主学習とバリエーションを増やすための努力も欠かしません。

会員の願いは、私たちが心から楽しく活動することで、高齢者の人にも楽しく過ごしてもらおうことです。テーマカラーのピンクを着て「きらり」と輝いてください。そして、その輝きをみんなに注いでください。

楽しい取材ありがとうございました。

(H・T)

情報場の広場

ボランティアのつどい開催



1、2、3…の掛け声が響く体育館

「直方ボランティアのつどい」を直方市ボランティア連絡協議会との共催で開催します。このつどいは、ボランティアや障害児者、高齢者、子どもたちが交流を深めることを目的とし、毎年多くの出会いがあります。

現在活動中の人、ボランティア活動に興味のある人、新しい自分探しをしてみませんか。ぜひ一度ご参加ください。

【日時】

平成24年3月20日(火)
10時～14時頃まで

【内容及び場所】

午前：風船バレー
直方西小学校体育館
午後：交流会
直方市総合福祉センター

【申込締切】

3月8日(木)

【お問い合わせ】

直方市社会福祉協議会
0949(23)2551

デンマークの障害者

福祉に学ぶ学習会

かつての北欧・デンマークの障害者福祉は、大規模収容施設で暮らすことが当たり前という時代でした。では、どのようにして、福祉の国として知られるまでになり、障害者は現在どのような福祉制度のもとで生活をしているのでしょうか？

北欧の福祉を視察された小賀久先生に講演していただきます。興味のある人はどなたでもご参加ください。

【日時】

平成24年3月10日(土)
10時～12時まで

【場所】

直方市中央公民館

2階第1学習室

【講演テーマ】

『北欧の施設「解体」と親の会(LEV)』～デンマークを中心に～

【講師】

北九州市立大学文学部
人間関係学科教授 小賀 久氏

【主催】

障がい者問題を考える
直方市連絡会

【お問い合わせ】

直方市社会福祉協議会
0949(23)2551

図書室



「ワガママなバアサンになつて楽しく生きよう」

著者 樋口 恵子

発行者 大和 謙二

発行所 大和書房

現代の50代、60代の女性は妻であり、母であり、姑であり、娘であり、一家の主婦という複雑な立場にある。

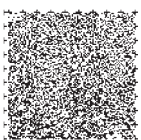
それに家業があれば、一人八役の重圧となる。

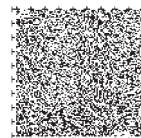
老親を介護する嫁世代でありながら更年期症状に悩む。さらに新しい姑学のストレスにさらされ、老人介護で腰痛、肩こりに見舞われ心身ともにすり減らすことになる。

これからの女性は、自分の目の黒いうちに、嫁がさらに一代下の姑になることも覚悟しなければならぬ。「ああ：私の青春、いや、人生なんなの？誰も解ってくれない！」

とにかくこの本でストレス解消。

(K・H)





日曜出合いの広場 もちつき会 開催



もちつき会で汗を流す参加者たち

平成23年12月18日(日)に、毎年恒例のもちつき会が直方市総合福祉センターにて開催されました。

もちつき会は、障害や年齢に関わらず誰もが出合いとふれあいを楽しめます。

当日は、つく人、こねる人など、120名でにぎわいました。今年度は善意にてもち米を寄贈していただき、参加者はいつも以上に、お腹一杯のおもちを食べることができました。心から感謝いたします。

命を守る「直方徘徊SOSネットワーク」に参加を

認知症などによる徘徊行方不明者を早期発見するため、企業・団体や市民の参加をお願いします。

【企業・団体】

FAX番号を登録していただくと、関連する情報をお知らせします。

【個人】

携帯電話やパソコンから、直方市情報メールマガジン「つながるのおがた」の「緊急情報」を登録してください。

【お問い合わせ】

直方市社会福祉協議会
☎0949(23)2551

あなたと一緒に
ヘルパーとして
働いてみませんか。



■ 資格

- ・ヘルパー2級以上
- ・普通自動車免許

■ 賃金(時給)

- ・生活援助
(日 中) 1,000円
(早朝夜間) 1,200円
- ・身体介護
(日 中) 1,550円
(早朝夜間) 1,860円
- ・移動支援(ガイドヘルプ)
(日 中) 1,400円

■ 活動時間

- ・7時～21時
- ※勤務時間は相談の上

【お問い合わせ】

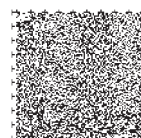
直方市社会福祉協議会
ホームヘルプサービス 香月・毛利
☎0949(23)2551
(月～金 8時30分～17時)

ご寄付ありがとうございます。
ごございます。

平成23年11月11日～平成24年2月10日

24件 合計金額488,000円

(お名前は承諾された方のみ掲載、敬称略)



香典返し寄付金

- 植 野 宮崎 ヨシノ
- 植 木 富田 哲司
- 下新入 吉田 多鶴子
- 溝 堀 池尻 佳子
- 頓 野 早川 健次
- 山 部 村上 保雄
- 知 古 宮地 ツヤ子
- 感 田 阿部 美之
- 上 境 (故)宮崎 義一
- 下 境 久保田 茂
- 鞍 手 町 石原 敏幸
- 下新入 山口 安子
- 上新入 清水 美登子
- 頓 野 村田 隆
- 山 部 飯野 貞紀
- 植 木 中島 茂樹
- 植 木 國房 京子
- 植 木 藤井 慶子

- 頓 野 原田 幸晴
- 直 方 長木 峯代
- 赤 地 元岡 ハツ子
- 上頓野 山口 十郎
- 感 田 田中 国弘
- 小竹町 田丸 務

編集後記

国立社会保障・人口問題研究所は1月30日、50年後の総人口が現在に比べ約30%減少し、65歳以上の高齢者が約40%にまで増加すると公表した。高齢者1人を現役世代が1人で支えるという時代が、目の前に迫っている。福祉は他人ごとだと目をそらさず、まずは問題を知らることから始めませんか。(M)

